



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2024/10/02

## カウントダウン!

### ヒズボラ討伐地上作戦と歪んだ国際世論

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今、中東で大変なことが起ころうとしています。イスラエルのヒズボラ討伐作戦の地上戦が、いよいよ始まろうとしているんですね。既にイスラエルは、偵察のために特殊部隊をレバノン南部に入れていました。つまり、地上戦はカウントダウンに入ったということです。そんな戦争が起こった時には、日本でも色んな報道がなされるでしょうが、それは偏ったものが多い。今日は、なぜ偏ったものになるのかということ、と一緒に考えたいと思います。

間もなく 10月7日を迎えようとしていますね。

今から1年前のあの10月7日、ハマスが3000人以上のテロリストをイスラエル本土に上陸させて、1200人以上を惨殺した。

だけではなく、240人の人質を拉致し、ガザの地下に連れ込んでいます。



可愛らしい女の子ですね。この子も人質なんです。まだ戻って来てません。



男の子がパパに抱っこされて果物を見てます。仲睦まじい親子の微笑ましいスナップ写真ですね。この子も戻って来てないんです。



ママが赤ちゃんをあやしてますが、まだ生まれて2-3か月ですよ。この赤ちゃんもハマスに拉致されて、未だ返してもらってない。



4枚目、マスコット人形を握っている赤ちゃん。この子もまだ、戻ってない。

ハマスは女性をレイプし、若者・老人・生後数か月の赤ちゃんまで拉致し、人質に取り、未だに返さないんですね。

この紛争をやめさせるには人質を返すことです。そして、武装解除する。

ならば、戦争は終わるんです。が、あくまでもそれをしない。

10月7日のテロの首謀者がヤヒヤ・シンフルです。

「彼はこの地面の下のここにいる」ということがほぼほぼ掴まれて、イスラエルの特殊部隊が突っ込もうとしたんですが、直前にその作戦の実行を思い留まりました。



人質が犠牲になることが、ハッキリ分かったからです。イスラエルは人質の奪還を最優先にしています。同時に、この首謀者が始末されない限り、何度でも繰り返されるんですね。ハマスの幹部たちは言いました。「4回でも5回でもこれをやる。」

しかし、このハマス討伐作戦によって、全部で24あった大隊のうち、23大隊が壊滅しました。残っているのは1大隊だけです。ハマスの主力は、ほぼほぼ壊滅状態なんですね。このような状況の中で、イスラエルは、止めを刺すためのテロ討伐作戦をしているんです。



少年とお母さん。お母さんは泣きそうな顔をしていますね。10月7日、この少年はガザ近郊にあるイスラエルの共同体（キブツ）にいました。キブツの住人たちはお互い助け合って生活しているので、隣人には心開いています。この少年はハマスに脅されて、鍵を掛けている隣人の家をノックして、自分の名前を言いました。聞き覚えがある声なので、隣人は安心して戸を開け、そこへハマスのテロリストたちが入って行ったんです。キブツの人たちを全滅に追い込むために隣人の絆を利用し、この少年が利用された。彼らはガザに連れて行かれましたが、お母さんは既に殺されています。もうね、人間がやることじゃないですよ。

こんなことを2回も3回も4回も5回もやると公言しているテロ団体を「あ、そうですか。じゃあ、どうぞ」なんて言う独立国家、どこにありますか！イスラエルが今やっていることは、テロじゃないんです。これは自衛権の発動だということを、私はここで繰り返し申し上げておきたい。



ヤヒヤ・シンワルに匹敵するのが、レバノンの南部にいるヒズボラのトップ、ナスララです。このナスララが、遂に取り除かれました。



9月17日にポケットベルが炸裂し、そして、18日にも通信機器が炸裂しました。それから10日後の9月27日に、ナスララたちが集まっていた地下20メートルにあるヒズボラの本部が、80トンの爆弾で完全に除去されたんです。火の手が上がってますね。今、地下30メートルの大きな穴が開いていると言われてます。



これで、ヒズボラの幹部ほぼ全員が抹殺されたんです。トップのハッサン・ナスララと、その下にいる人物たちもみな取り除かれた。今のヒズボラのリーダー世代が一代丸ごと消えたということです。

ヒズボラという存在はまだ残ってますよ。武器や兵たち、彼らが掘ったトンネルは何十本も残っています。

ですが、彼らに指令を与える司令官たちが、忽然と取り除かれてしまった。特にナスラは精神的支柱なので、その穴は非常に大きいんです。

今、ナスラがいなくなったことでダメージを受けているのは、ヒズボラだけではありません。ヒズボラを支えて来たイランが大ダメージを受けてるんです。



ヒズボラはイスラエルに対するイランの抑止力です。

ヒズボラはレバノン南部の、イスラエルと国境を接しているところにいます。

今、ヒズボラのトップたちが全員除かれてしまったことも恐怖ですが、イランの内部では、ある種のパニックが起こっているということが私に入ってきました。

9月17・18日に、ポケットベル型の通信機器が次々爆発し、3000人もヒズボラの兵士たちがダメージを受けたと言われています。

このポケットベルや通信機器を、どうやって手に入れたのかが問題なんですね。

ヒズボラは、西側の多くの国々から国際テロ団体として指名されています。日本も認定しています。特にアメリカは、これは国際テロ組織だと認定しているので、ヒズボラとの取引はできません。西側の通信機器メーカーも、電子部品メーカーも、ヒズボラに直接売ることはできないんです。そんなことが分かった日には、アメリカの経済制裁を受けて立ち行かなくなる。

なので、ヒズボラがそのような電子機器を入手するには、闇業者を使うしかない。その闇業者のネットワークの中にイスラエルが巧妙に入り込み、爆弾を仕込むことに成功したということですが、それで震え上がっているのは、実はイランなんです。

イランも核開発疑惑のために、世界中から制裁を受けています。イランもヒズボラ同様、通信機器や電子部品を入手するには闇業者を使うしかないんです。ヒズボラが使っていた闇業者（おそらくイランが教えたでしょう）の中に、イスラエルの巧妙な潜伏が成功していた。ということは、イランが使っている通信機器や電子部品の中にも、イスラエルはいつでも入ろうと思ったら入れる。なので、今イラン国内では通信機器の解体が始まっていて、何を信じたらいいか分からない。

なぜイランのことに警告を与えているのか。ヒズボラは自然発生したのではなく、イラン革命防衛隊によって作られた組織です。これは代理組織というよりも、イランがゼロから養成した別動隊ですよ。イランの抑止力、それがヒズボラです。



シリア・イラク・ヨルダン川西岸・イエメンをはじめ色んなところにイランの代理組織がいます。

イランはイスラム原理主義シーア派のテロ代理組織を使って、今まで中東で100万人以上の血を流しているんですよ。

バックにいるのはイランです！イランこそはテロの根源です。

イスラエルはヒズボラを叩くことで、イランと直接事を構えることはなかった。しかし、「やろうと思えばいつでもできるぞ」という警告を与えているんですね。

テロの被害を受けている自由主義国家イスラエル。

日本では「イスラエルは無法国家」というような報道が多い。ごちゃんねるのコメント欄にも「おまえ、ナニ考えてるんだ！イスラエルは狂気の国、快樂殺人国家だ！」みたいなものが、目に余る言動でバシバシ入って来るんです。

そう思い込んでしまうのは、そんな報道しか見たことがないからだと思うんですよ。

私が思うに、日本のリベラルの報道機関は、いくつかの前提から成り立っていると思います。「イスラム教は平和の宗教である。平和の宗教を攻撃するイスラエルは無法者国家だ。この無法者国家イスラエルを支援するアメリカは、民主主義でも何でもなく差別国家である。」

その根底にあるのは反米です。リベラルがイスラエルを叩くのは、イスラエルのバックにアメリカがいるに違いないという前提なんですよ。

イスラエル批判の大前提は、強いアメリカは悪い！というルサンチマンの考え方が、未だにあるんじゃないか。それは個別に見ていくとおかしいんです。

イスラム教は平和の宗教だと言いますね。もちろん、イスラム教徒の中に平和主義の人はいると思いますよ。でも、厳格に文字通り、それを今すぐ実行しなければならないというイスラム原理主義・過激派の人たちはテロに訴えるんです。

その代表がハマスやヒズボラで、もう弁解の余地がないテロをやって来たじゃないですか。10月7日、明らかなように。

にもかかわらず「イスラムは平和の宗教だ」と言う時に必ず使う論法は、「レバノンのシーア派住民の中で、ヒズボラは食料品を配ったり、医療を提供している。ハマスも軍事部門だけではなく、政治部門や保健部門があって、貧しいガザ住民に医療・フードサービスを提供して来た。」

フードサービスと言いますが、国連が無償で与えている食糧を、ハマスが分捕ってるんですよ。本来は無償で分け与えなければならない物を、ハマスは法外な値段で売りつけているんです。



最近、ガザでアップされた動画です。国連から支給された食糧を受け取るために、男たちが長蛇の列をなして並んでいます。



このスマホの向きをクリッと返すと、山のように積まれた食料の段ボールがあるんですよ。

これは、ハマスの食料備蓄庫です。

国連の方に並んでいる人たちは、ここに入れません。

ハマスのメンバーになれば、並ばなくても、いくらでも取り放題。



スマホの向きをまたクリッと返すと、ずーっと黙々と待っている多くのガザ住民たち。



これをまたクリッと変えると、写っているのはハマスのメンバーたち。彼らの背後に積み上がっているのは食料ですよ。彼らがガザ住民たちのことを考えてフードサービスや医療サービスをしているのなら、なぜ分けてやらないんですか。彼らはそんな人たちじゃないんですよ。

ヒズボラも同じです。軍事部門だけじゃなくて政治部門もあるとか言ってますけど、テロリストが医療をやったり食糧分配したら、やっているテロ行為は帳消しになるんですか。

オウム真理教が地下鉄サリン事件を起こしましたね。サリンを撒いた人の中に医者がありましたよね。13人が死刑になったけど、その中に医者がありましたよね。医者で医療行為をして来たということと、サリンを撒いたということは、関係ないじゃないですか。医者でテロ行為をした。テロ行為は問われなくて、医者である部分だけをクローズアップして「この人たちは医者なんだから！」と。彼らの中に看護師がいました。彼女は一般の病院で、患者さんたちを普通に見て来たと思います。だけど、逃亡している犯人を匿ったということで自首したんです。

人道的な生業を職業にしていたり資格を持っていることと、その人がテロをやったことは関係ない。やったテロの部分だけを問うて当たり前ですよ。ハマスやヒズボラの中に医者がいるでしょう。彼らはテロをやったんです。10月7日、ハマスの医者はフェンスを乗り越えてイスラエルに入り、テロをやったんですよ。医者だから人道的だといって、テロ行為が帳消しになるのはおかしい！

そのおかしいことを、なんで日本は言うのか。イスラムは平和の宗教だという前提が崩れたら、平和の宗教の人たちを叩いているイスラエルは無法者だ、ということが言えなくなるからではありませんか。どんな人が悪をやっても、悪をやった段階で悪なんです。当たり前じゃないですか。

ナスララが取り除かれた時、日本の報道では「ナスララの支持者の涙の訴え」とか「なぜこんな酷いことするんだ！」というのばかり流れていました。ほかのSNSは今、どんな動画が溢れかえっているのでしょうか。



画像がボンヤリしてますが、ナスララが死んだということで、シリアのイドリブ県の人たちが「やったー！」とお祭り騒ぎしてるんです。

レバノンの北方でも同じようなことがあって、今までヒズボラに散々な目にあって来たレバノン人やシリア人が、ナスララが死んだということで大喜びして、夜通しバイクや車を取り回して、花火打ち上げてお祝いしてるんですよ。

この一点見ても、「ヒズボラに対する攻撃は無法だ！」ではなく、無法なことをして来た者たちが除かれたから喜んでるんじゃないですか。アラブの人たちが。イランの手先となって国が乗っ取られてる。今まで辛い思いをして来た人たちがたくさんいる。その面についても報道する必要があるんじゃないですか。半分だけの真実というのは、100%ウソよりももっと始末が悪いと思いますよ。

「ハマスやヒズボラを叩くのは国際法違反だ！」と、私のコメント欄にもいっぱい書いてあるんですけど、国際法違反じゃないんです。私もそりゃ徹底的な専門家ではないけど、一時期ある先生に付いて学びました。それで、1つだけこの点について申し上げたい。

A という国の隣に B という国がありました。A 国には強力なテロ組織がありました。この組織はあまりにも強くて、政府の言うことを聞きません。この組織が B 国にテロ攻撃を仕掛けました。B 国が A 国の政府に言っても、彼らには取り締まる力がない。その場合、A の国境を突破して、その国内にいる組織を叩くのは、国際法で認められているんです。



これは MEMRI (メモリ) というテレビで、英語字幕を付けてくれてるんですが、ナスララが10月7日のテロの約2週間後に、「今こそ中東の反イスラエルの軍事組織(テロ組織)は決起して、イスラエルに攻め込むべきだ！」と思いつ切り煽っている演説です。

そして有言実行、10月7日テロの翌日10月8日から、ロケット弾を何千発も打ち込んだじゃないですか。レバノン政府はそんなことしてほしくない。だけど、それを抑える力がない。レバノン国軍よりもヒズボラの方が、はるかに強力な軍事力を持っているからです。

レバノンは大統領制の国なのに、未だに大統領いないんですよ。ヒズボラが大統領選挙をさせないんです。「するな！」と言ったら「ははあ」と従わせる力がヒズボラにあるんですね。つまり、軍事力です。その軍事力はどこから来たんですか。イランですよ！

こういう状況の中で、レバノンのヒズボラを叩くためにレバノンに入るのは国際法違反ではない。そのことを、まず知っていただきたいです。

この背後には、「こんな酷いことをしているイスラエルを支持するアメリカは差別国家だ！」というのがありますが、根底にあるのはこれだと思います。日本のリベラルの中に基本的にあるのは「アメリカ嫌い！」強い国は嫌い。反米・反イスラエルの背後には、「強いヤツは嫌い。弱い者を助けるのが正義」みたいな、おかしい図式があるんじゃないですか。強い=悪とは限らないし、弱い=善とは限らないですよ。

